

野菜・果実・いも類の使用頻度と廃棄率，8年間のデータから

中村学園大 林 辰 美

〔目的〕 実際の食生活に即して、野菜・果実・いも類の使用頻度と廃棄率を調査し、その要因を明らかにする。また、食生活の改善に資する材料を得る。

〔方法〕 1985年1月～1992年12月の間に、東京都の5区を調査対象とし、毎月1回、食生活の調査を行った。調査内容は、野菜・果実・いも類の使用頻度と廃棄率、食生活の改善に資する材料を得る。調査方法は、N 5200-05で観測した。調査結果は、NECのパソコンで集計した。調査結果は、NECのパソコンで集計した。

〔結果〕 野菜・果実・いも類の使用頻度の高い食品は、緑黄色野菜類(17品)にんじん97.6%、トマト42.7%、ほうれん草37.8%、じゃがいも31.7%、きゅうり74.4%、たまねぎ69.5%、キャベツ19.5%であった。野菜・果実・いも類の使用頻度の低い食品は、淡色野菜類(18品)きゅうり74.4%、たまねぎ69.5%、りんご20.7%、バナナ19.5%であった。野菜・果実・いも類の使用頻度の低い食品は、淡色野菜類(18品)きゅうり74.4%、たまねぎ69.5%、りんご20.7%、バナナ19.5%であった。